

300年の時を超えて

2018 5/12 (土)

古希記念演奏会

14:00 開演
(13:30 開場)

東京オペラシティ3F
近江楽堂

入場無料

本年は明治維新150年という節目の年ですが、さらに150年さかのぼると、時は江戸中期。八代将軍吉宗の治世でした。

『質素儉約・緊縮財政(歳出削減)・風紀紊乱の取締り』を旨とする『享保の改革』の行われた時期。

そのころ西欧の音楽界では、大バッハはまだ30歳そこそことはいえ、ケーテンの宮廷楽長として恵まれた環境の中で、数多くの名作を作曲していました。

バッハと同年のヘンデルも「水上の音楽」を作曲し、さらにオペラやオラトリオなど劇場で上演される作品を作曲しロンドンで全盛期を迎えています。

気難しい顔をした音楽室の「音楽の父」や「音楽の母」が大活躍した時代に思いを馳せて、節目の古希記念にお二人の賛助をえて、しばし逍遥してみます。

【プログラム】

J. C. ペーパシュ (1667-1752) : トリオ・ソナタ ニ長調
G. F. ヘンデル (1685-1759) : トリオ・ソナタ 作品2-1 b 口短調
J. B. セナイエ (1687-1730) : ソナタ 作品1-1ハ短調
ほか

(曲目はやむを得ず変更する場合があります。ご了承ください。)



河原初郎 (かわはら・はつろう)
リコーダー (アルト・リコーダー & ヴォイスフルート)

1948年生まれ。

西欧バロック時代のリコーダーに惹かれ、2002年より、篠原理華氏にその手ほどきを受ける。2005年からは花岡和生氏に師事し、現在に至る。

音楽理論を外川陽子氏に師事し、2009年から、毎年教会で開催される「Veilchenファイルヒェン(外川陽子主宰)」の発表会「リコーダーとチェンバロの織りなす様々な響き」に参加。

また、チェンバロ奏者岡田龍之介氏と花岡和生氏によるサマースクールにも、数回参加。2008年に、還暦記念演奏会「万緑演奏会」を東京建物八重洲ホールにて開催。

今回は、それに続く古希記念演奏会。



賛助出演 竹嶋祐子 (たけしま・ゆうこ)
バロックヴァイオリン

福岡県出身。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。ヴァイオリン、室内楽を久保田良作、天野晴司、山根美代子の各氏に師事。レンク国際音楽アカデミーにてシャンドール・ヴェーグ氏に師事。

在学中よりピリオド楽器による演奏に興味を持ち、卒業後「東京バッハ・モーツァルトオーケストラ」等で演奏活動を開始。現在、「バッハ・コレギウム・ジャパン」のカンタータ全曲録音プロジェクトや国内外での公演をはじめ、「オーケストラ・リベラ・クラシカ」「レ・ボレアード」などのオーケストラメンバーとして、また室内楽にも積極的に取り組み、各地の音楽祭や芸術祭にも参加している。「アンサンブル朋」メンバー。

(photo: ©studio-XAVI)



賛助出演 外川陽子 (とがわ・ようこ)
チェンバロ

桐朋学園女子高等学校音楽科ピアノ科を経て、桐朋学園大学音楽学部古楽器科チェンバロ専攻卒業。ピアノを新井精、大島正泰、チェンバロを有田千代子の各氏に師事。チェンバロ音楽愛好家たちとともに作ったチェンバロの会「Veilchenファイルヒェン」を主宰し、チェンバロ・ソロ&アンサンブルによる発表会を開催している。また、毎年ゲストを招いて、様々なアンサンブルによるカフェコンサートを企画。2015年春には「ギリシャ神話と聖書の世界」を繰り広げたソロ・リサイタルを開催。

現在は、チェンバロソロ、通奏低音奏者として、国内各地で活躍している。

「アンサンブル朋」「デュルフェール」メンバー。

(photo: ©E. Shinohara)

【アクセス】

東京オペラシティ 3F 近江楽堂

東京都新宿区 西新宿3-20-2

電話 : 03-5353-6937

電車でご来場の場合: 京王新線初台駅東口(オペラシティ方面)出口から徒歩3分

お車でご来場の場合: 地下2階、一般駐車場をご利用下さい。

(30分 300円、最大2000円)

当ホールにおいて、割引券の発行はございません。

後援: ファイルヒェン

協力: 島口ハーブシコード工房

【お問い合わせ】

河原 初郎

E-mail : 70memorialconcert@gmail.com

FAX : 042-636-3826

ファイルヒェン

<http://veilchen1993.web.fc2.com/>

